



今回は、愛知県が主催している、「あいちトップアスリートアカデミー<ユース>」に参加し、現在も競技活動を継続している修了生の活躍について紹介します。

○「あいちトップアスリートアカデミー」とは？

愛知県全域からスポーツ能力の高い子どもたちを発掘し、各競技団体等と連携して「トップアスリート」に育成することを目指す事業です。2019年10月に開校し、1年半の育成プログラムを終え、2021年3月に初めての修了生（一期生）を送り出しました。

○ユースとは？

一定の競技力を有する中学1年生から大学生年代までを対象に、個人の能力がより発揮できる県指定の競技への転向を図り、トップアスリートとなることを目的としています。ユースのアカデミー生に選考されると、各競技団体から専門的な指導を受けることができます。

○現在の県指定の競技は？

水泳（飛込、水球女子）、ビーチバレーボール、ラグビー女子、アーチェリー、トライアスロン、射撃（ライフル、ピストル）、レスリングの7競技9種目です。
現在、8名の二期生が、アカデミー生として活動しています。

○どんな人がユースに応募してるの？

県の指定競技に興味があり、今取り組んでいる競技から新しい競技に転向して、トップアスリートを目指したい人。

今回、取材したのは、アーチェリーの修了生（一期生）の鈴木璃路さん（中3）と加藤類くん（高1）です。アカデミー生としての活動は、2021年3月に修了しましたが、その後も競技団体の指導を受けながら大会に出場しています。

2人とも、アーチェリーを始めて、まだ2年程ですが、成果を上げています。
今回は、大会に参加した二人の姿取材しました。

○大会名 第41回中日オープンインドア・アーチェリー大会

兼 第10回WIN CUP インドアアーチェリー大会

○日 時 2021年12月25日（土）、26日（日） 午後1時から午後5時

○会 場 パークアリーナ小牧 メインアリーナ

開会式では、東京オリンピック男子の部の銅メダリストの古川高晴選手や東京オリンピック女子の部に出場した中村美樹選手始め、4名の選手のデモンストレーションがありました。



東京オリンピック個人、団体
銅メダリストの古川選手（右）



トップアスリートによる
デモンストレーション

開会式後、それぞれの部門別に競技が開始されました。今回 2 人が参加したのは、リカーブ部門の中学女子の部、高校生男子の部です。

試合は、ブサーの合図に従って同じ標的を使用する選手全員が、シューティングラインまで前進し、18m先の的に向かって、行射（弓を引くこと）をおこないます。選手は集中して自分のタイミングでまず矢を放ちます。行射が終了すると、全員で矢取りにいきます。自分の矢が何点に当たっているか確認します。そして、選手同士で相手の得点を確認し、スコアカードを交換し、点数を記入します。

前半・後半でそれぞれ点数を記入し、合計点数の高い中で順位が決定します。



集中しての的を狙います



全員で行射します



全員で矢取りにいきます



スコアカードに点数を記入します



中学男子の部に出場したアカデミー生



抽選会でプレゼントが当たりました

試合終了後には、お楽しみ抽選会があり、アカデミー生はプレゼントが当たり大喜び！！

最後に表彰式です。

鈴木さんは、前半で259点、後半で258点の合計517点で、

中学生女子の部で第6位に入賞しました！！おめでとう！！

(※1番右側が鈴木さん)



加藤くんは、26日に開催された高校生男子の部に参加しました。



加藤くんは、2021年11月に行われた高校新人大会で第2位に入賞し、全国大会に出場することが決定しました！初めての全国大会に向けて現在練習に励んでいます。

祝 加藤 類くん

「令和3年度 第40回全国高等学校アーチェリー選抜大会」に出場決定！

2022年3月26日（土）から28日（月）

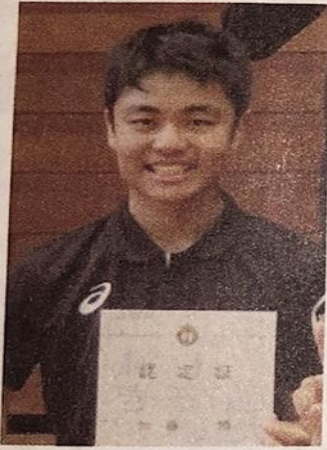
静岡県「つま恋リゾート 彩の郷第1多目的広場特設会」

尾北ホームニュースの1月21日発行の新聞でも加藤くんの活躍が掲載されました。今後の活躍に期待しています！！

http://www.nomenews.jp 配布区域(江南市、犬山市、扶桑町、大口町、一宮市の一部)

江南市の加藤類さん（南山高男子部2年） アーチェリーで 全国大会へ

江南市在住、古知野西小学校出身で南山高男子部2年生の加藤類さんⅡ写真Ⅱは、3月26～28日に静岡県掛川市で開かれるJOCジュニアオリンピックカップ・第40回全国高等学校アーチェリー選抜大会に出場します。中学3年生の時、あいちトップアスリートアカデミー1期生の募集を知り、「やってみよう」と選考会に参加。



小学生1年から体操競技をしてきたこともあって体力測定等に合格し、アーチェリーを始めました。大学生との練習や自宅で体幹トレーニングに励むなど、日々研さんを積む加藤さん。体操で鍛えた体幹を武器に、競技を始めて2年ほどで10月の県大会で5位、11月の県新人大会で2位と好成績を収め、全国大会への切符を手に入れました。弦をつなぐリムの先が逆反りした形状の弓を使い、70g先の標的を狙って点数を競うアーチェリーリカーブ。全国大会では、596点（72射）の自己ベスト更新を目指し「自分らしく落ちていく」と、意気込みを語ります。

ユース生及び、アカデミー生の活動状況の詳細は、以下のWebページにて随時更新しています。ぜひご覧ください。2023年度のアカデミー生募集も2月中旬より開始予定です。

「あいちトップアスリートアカデミー」

☞ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/topathlete-2019.html>

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/sports-column.html>